

# 図書館だより

Nishi J.H.S Library

西中学校図書館 令和元年 5月

## 5月

5月 May 皐月(さつき)  
旧暦の5月「皐月晴れ」は梅雨の晴れ間のことでした。早苗を植える呼び名が略されたと云われます。

新しい元号「令和」がスタートしました。「万葉集」の梅花の歌が出典とされ、「明日への希望と共に、日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」という願いを込めて、選ばれたそうです。もうすぐ『西中体育大会』ですね。短い練習期間に集中して取り組むみなさんは力強さと若さに輝き見ていて眩しいほどです。最高の西中体育大会にしてください！ 当日までは忙しいでしょうが、疲れた身体を癒やしに図書館へもどうぞ。この度、図書館の椅子が新しくなりました。館内が明るくなりましたね。大事に使っていきましょう。

こども読書週間にあわせ、4/26(月)~5/24(金)は 西中読書週間開催です。

### 今年もやります“スタンプラリーフェア”

国語教科書掲載スタンプラリーにレッツ チャレンジ!! 期間中に対象の本を借りて読むと『オリジナルしおり』がもらえます。今年度も年に数回スタンプラリーフェアを開催予定です♪

あたらしい本も入ります。詳しくは裏面を要チェック!!



### 前期図書係の紹介

- 1-1 ここは、
- 1-2 個人情報保護の為、
- 2-1 ホームページ上での名前
- 2-2 の掲載を消去させて頂き
- 3-1 ます。ご了承下さい。
- 3-2

よろしく  
お願いします。



### 4月の貸出状況



クラス	1年生	2年生	3年生	全校
貸出冊数	433冊	48冊	97冊	578冊
ひと月平均	6.0冊	0.7冊	1.5冊	2.8冊



### 「読書王たちの推し本展」

西中図書館では、年間100冊以上の本を借りた人を『読書王』と認定し表彰しています。その読書王たちが今年一番の推し本を紹介してくれました。ただ今、絶賛展示中です。『人が本を語り、本が人を語る』という言葉があります。誰かの心に届いたイチオシの本★あなたの心にも届きますように。『未来は読書にあり!』です。✨

金子 莉寿さん

「祭火小夜の後悔」

秋竹サラダ/著 KADOKAWA (913・あ)  
女子高校生・祭火小夜が教師の坂口、同級生の糸川に直面していた怪奇現象を次々と解決していきます。じりじりと近寄ってくる、正体の分からない「何か」。段々と追いつめられていく恐怖。読者の想像力をふくらませるファンタジーです!!



泉 柚有さん

「ぼくのメジャースプーン」

辻村深月/著 講談社 (8913・つ)  
声で人を操る能力を持った主人公「ぼく」は全く罪意識のない、うさぎ殺しの犯人にどのような罪を与えるのか。「ぼく」と一緒にこの問題を考えることのできる作品です。「だまされる快感」を味わってください!!



梅野 優希さん

「名探偵コナン ゼロの執行人」  
青山剛昌/著 小学館 (913・あ)

安室透が、「ぼくの恋人はこの国さ」と言うセリフがすごくかっこいいので、おすすめです。



馬場 優衣さん

「青い春を数えて」

武田綾乃/著 講談社 (913・た)  
一番のおすすめは、放送部員が出てくる「白線と一步」。親友だけど絶対負けたくない。八つ当たりして気持ちがすれ違ってしまおう中、部活の後輩が…。5人の複雑な心情を描いた短編集。それぞれの主人公が抱える葛藤や生きづらさがリアルに描かれていて読み応えあり!



原口和真さん

「イタチ真伝 光明篇」

岸本斉史/著 集英社 (913・き)

自分の一族から「里にクエターを起こし一族と共に死んでいくか、クエター前に弟だけを助け、自分の手で一族を滅ぼすか」と問われたイタチはどんな答えを出すか!?ドキドキしながら読みました。自分ならどちらを選ぶだろうと考えながら読んでみてください。



中村 奏嵐さん

「絶滅動物ミュージアム」

宮川アジュ/著 集英社 (45・み)  
動物がいつ・なぜ絶滅したのかがよくわかります! 日本だけでなく世界の絶滅した動物の大きさなど詳しく書かれています。ぜひ読んでみてください。



富安 海翔さん

「君の臓腑をたべたい」

任野よる/著 双葉社 (913・す)  
病気になっている少女・山内さくらとクラスでも地味な「僕」。二人の病気に対する気持ちや考え方の変化がとてもいいです。ぜひ読んでください。

